

# NY マーケットレポート (2018年2月16日)

## 2018年2月16日 (金)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%
日経平均	21720.25	+255.27	-4.59%
ハンセン指数	休場		
上海総合	休場		
豪ASX200	5904.04	-4.95	-2.66%
インドSENSEX	34010.76	-286.71	-0.14%

\*中国、香港市場は旧正月で休場

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	106.02	106.35	105.55
EUR/JPY	132.84	133.10	132.40
GBP/JPY	149.67	149.96	149.21
AUD/JPY	84.49	84.51	84.08
EUR/USD	1.2529	1.2555	1.2497

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%
英FT100	7294.70	+59.89	-5.11%
仏CAC40	5281.58	+59.06	-0.58%
独DAX	12451.96	+105.79	-3.60%
スペインIBX35	9832.10	+117.20	-2.11%
南ア全株指数	59122.34	-410.76	-0.64%

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	106.26	106.40	105.92
EUR/JPY	131.87	132.56	131.81
GBP/JPY	149.02	149.29	148.79
AUD/JPY	84.08	84.46	83.92
EUR/USD	1.2410	1.2474	1.2394

米国主要株価	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	25219.38	+19.01	2.02%
S&P500	2732.22	+1.02	2.19%
NASDAQ	7239.47	-16.96	4.87%
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%
トロント総合	15452.64	+44.98	-4.67%
ボルサ指数	48882.79	+74.39	-0.96%
ボベスパ指数	84524.58	+234.02	10.63%

\*一部暫定値

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1356.20	+0.90	3.4%
NY 原油	61.68	+0.34	2.0%
COBTコーン	375.00	-0.50	4.8%
CRB指数	193.58	+0.12	-0.2%
トル指数先物	89.13	+0.53	-3.25%
VIX指数	19.49	+0.33	78.9%

### 2/19 経済指標スケジュール

08:50 【日本】1月貿易収支  
 09:01 【英国】2月ライトムーブ住宅価格  
 18:00 【欧州】12月経常収支  
 19:00 【欧州】12月建設支出

### 2/19 主要会議・講演・その他予定

- ・ユーロ圏財務相会合
- ・米国市場 休場 (プレジデント・デー)

Crypto Currency	本日	前日
CBOE Bitcoin(先物・期近)	10150	9950
CME Bitcoin(先物・期近)	10020	10090
Ripple (BSTP)	1.113	1.091
Ethereum (BSTP)	939.81	921.34
Bitcoin Cash	1514.05	1355.79

\*USD 7:00時点

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.15%	-0.15%
5年債	-0.10%	-0.10%
10年債	0.06%	0.07%
30年債	0.79%	0.80%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	0.71%	0.76%
英国 10年債	1.58%	1.65%
フランス 10年債	0.95%	1.01%
米国債利回り		
2年債	2.19%	2.18%
3年債	2.38%	2.41%
5年債	2.63%	2.65%
7年債	2.80%	2.84%
10年債	2.88%	2.91%
30年債	3.13%	3.16%

## NY 市場レポート

### ◀ NY 市場概況 ▶

NY 市場では、序盤に発表された米経済指標が好調となったほか、リスク選好の動きが後退したことを受けて、ドルは堅調な動きとなった。その後、米国債利回りの低下を受けて、ドル売り・円買いとなったこともあり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。しかし、ドル/円は値頃感の買いもあり、終盤にかけて堅調となったが、クロス円は上値の重い動きが続いた。一方、米株式市場では、ダウ平均株価が小幅高となり、6 営業日続伸となったが、ナスダックは小幅安となった。

### 米主要経済指標の結果

1 月輸入物価指数（前月比） 1.0%（予想 0.6%・前回 0.1% ⇒ 0.2%）

1 月輸入物価指数（前年比） 3.6%（予想 3.0%・前回 3.0% ⇒ 3.2%）

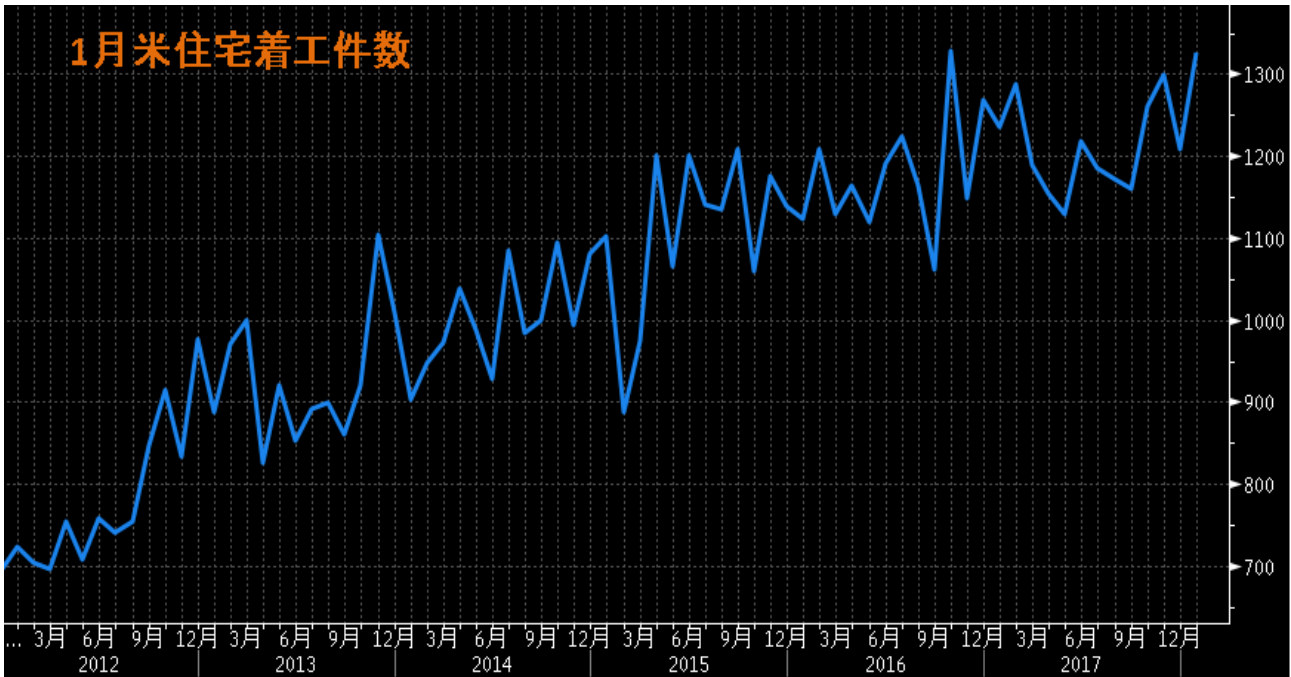
1 月の米輸入物価指数は、前月比+1.0%となり、6 ヶ月連続のプラスとなった。前年比では+3.6%だった。石油・石油製品が引き続き大きく上昇したのに加え、マイナスが続いていた食品がプラスに転じたことが影響した。石油・石油製品は前月比+4.3%、石油以外は+0.5%となった。品目別では、原油が+5.8%、食品が+0.8%、自動車・同部品は+0.5%。国・地域別では、中南米からの輸入価格が+1.4%、カナダが+2.5%、EUが+0.5%、中国は横ばい、日本は+0.6%で、2011 年 1 月以来の上昇率となった。



1 月住宅着工件数 132.6 万件（予想 123.4 万件・前回 119.2 万件 ⇒ 120.9 万件）

1 月建設許可件数 139.6 万件（予想 130.0 万件・前回 130.2 万件 ⇒ 130.0 万件）

1 月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比+9.7%の 132.6 万件と 2 ヶ月ぶりの増加となり、2016 年 10 月以来、1 年 3 ヶ月ぶりの高水準となった。特に集合住宅の増加が目立った。前年比では+7.3%だった。また、着工件数の先行指標となる建設許可件数は、前月比+7.4%の 139.6 万件、前年比では+7.4%だった。



2月ミシガン大学消費者信頼感指数 99.9 (予想 95.5・前回 95.7)

2月の米ミシガン大学消費者信頼感指数の速報値は99.9となり、1月の確報値から4.2ポイント上昇し、昨年10月以来、4ヵ月ぶりの高水準となった。現状指数は115.1で1月確報値から4.6ポイント上昇。1年後のインフレ期待は2.7%で1月確報値から横ばいだった。



## 米ダウ平均株価は6営業日続伸

米株式市場は、米大手企業の四半期決算の内容が好感されたほか、米住宅着工件数が市場予想を上回ったことが好感され、序盤から堅調な動きとなった。しかし、ロシアによる米大統領選干渉疑惑を巡ってロシア人13人などが起訴されたとの報道を受けて、米政治の先行きに対する警戒感から売りが膨らみ、一時マイナス圏まで下落する場面もあった。



出所：Bloomberg

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	ヘルスケア	1.36%	1	ファイザー	1.54%
2	通信サービス	0.82%	2	ウォルマート	1.50%
3	消費者サービス	0.29%	3	ユナイテッドH	1.48%
4	消費財	0.20%	4	J&J	1.46%
	資本財	-0.43%		キャタピラー	-2.31%

出所：データを基にSBILMが作成

## ドル円はやや値を戻す

外国為替市場では、序盤に発表された米経済指標が好調となったほか、リスク選好の動きが後退したことを受けて、ドルは堅調な動きとなった。その後、米国債利回りの低下とを受けて、ドル売り・円買いとなったこともあり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。しかし、ドル/円は値頃感の買いもあり、終盤にかけて堅調となった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。